

Medical Device Day for Children

日本の小児用医療機器の開発推進のために
子供たちの健やかな未来のために



小児領域における医療機器開発は、対象疾患の特殊性やそれに伴う開発の難しさ、成人領域に比べて小さい市場規模等の課題から、世界的に開発が遅れております。

今回、小児用医療機器の早期開発に向けた推進策を産官学で議論する場として「Medical Device Day for Children」と題したシンポジウムを企画いたしました。

産官学より多くの演者やパネリストが参加し、新たな解決策の提案を目指します。

小児用医療機器開発への参画の有無に関わらず、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 || 2021年10月10日(日) 13:30~17:00

開催方法 || ZOOM Webinarによるハイブリッド開催

登録方法 || 御名前、御所属を記載の上、参加希望の旨を mddfcapp@schcvc.net までお送りください ▶



▲アドレスコード

PROGRAM

1. 開会挨拶 坂本喜三郎 静岡県立こども病院 院長

片倉健男 日本医療研究開発機構 (AMED) 医薬品等規制調和・評価研究事業 プログラムオフィサー

2. 《小児用医療機器の日米同時開発に係る課題抽出等に関する研究》調査結果報告

演者 || 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)

座長 || 金 成海 静岡県立こども病院 循環器科

3. 特別講演《デバイスラグ解消のためアカデミアができること》

演者 || 中村正人 東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

座長 || 方 眞美 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 医療機器審査第一部

4. 企業側から見た小児用医療機器開発の課題

演者 || (株)トライテック / (株)東海メディカルプロダクツ / アトムメディカル(株) / センチュリーメディカル(株)

座長 || 小林 徹 国立成育医療研究センター データサイエンス部門

5. パネルディスカッション《小児用医療機器開発と継続的提供をビジネスとして成立させるために何が必要か?》

PANELIST

行政 || 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課 / 医政局 経済課 / 経済産業省 医療・福祉機器産業室

日本医療研究開発機構 (AMED) / 日本貿易振興機構 (JETRO)

企業 || (株)トライテック / (株)東海メディカルプロダクツ / アトムメディカル(株) / センチュリーメディカル(株)

ノーベルファーマ(株) / ニプロ(株) / 帝人(株) / 日本ライフライン(株) / アボットメディカルジャパン合同会社

アカデミア || 富田 英 昭和大学病院 小児循環器・成人先天性心疾患センター

根本慎太郎 大阪医科薬科大学 医学部 研究支援センター 産学官連携推進室・外科学講座 胸部外科学

中村正人 東邦大学医療センター 大橋病院 循環器内科

座長 || 坂本喜三郎 静岡県立こども病院 院長 / 山本晴子 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) / 石井健介 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)

6. 閉会挨拶 坂本喜三郎 静岡県立こども病院 院長

主催 || 静岡県立こども病院 日本医療研究開発機構 医薬品等規制調和・評価研究事業「小児用医療機器の日米同時開発に係る課題抽出等に関する研究」代表機関
研究開発代表者 || 坂本喜三郎 静岡県立こども病院 院長・日本小児循環器学会前理事長

協賛 || 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

連絡先 || 静岡県立こども病院 会計課経理係 今井 (asuka-imai@i.shizuoka-pho.jp) 静岡市葵区漆山860 Tel.054-247-6251(代)

* 御名前・機関名・会社名等 敬称略